

団体名（所在地：秋田県大館市）

事業名

大館市「障害者の生涯学習」推進事業

主な連携先

県北教育事務所、市内支援学校、市内高等学校（3校）、市内障害者支援施設（6施設）及び障害者団体等

主な対象

障害者（身体・知的・精神・発達ほか）、当事者家族、支援者、健全者（一般市民）など

事業の趣旨・目的

- ・学校卒業後における障害者の生涯学習機会の拡大促進
- ・地域連携による持続可能な学びの支援に関する実践研究

学習プログラムの内容

- ・生涯学習連携協議会の開催（年3回）
第1回連携協議会開催（7月5日（火））
第2回連携協議会開催（11月9日（水））
第3回連携協議会開催（2月13日（月））
- ・ボランティア養成講座の開催（2講話・1講演）
- ・各種講座の開催
①SDGs 杉の端材を使ったリース作り講座（9月3日（土））
②一花一葉講座（10月1日（土）～14日（金））※アーカイブ配信
③ボッチャ交流大会（10月30日（日））
④おうちパン講座（11月12日（土））
⑤比内支援学校 青年学級（12月4日（日））
⑥初心者向けパソコン体験講座（1月14日（土））
⑦今年も音楽で遊ぼう！（1月22日（日））
- ・「大館市障害者の生涯学習推進事業」事業報告書の作成と配布（150冊）



9/3 SDGs 杉の端材を使ったリース作り講座

1/22 音楽で遊ぼう！

事業実施体制



今年度の取組状況

- ボランティア養成講座
- ①『講話』 ※アーカイブ配信（8/31～9/20）
「障害とはなんだろう
～必要な配慮について～」
県立比内支援学校 教育専門監 藤田 氏
 - ②『講話』 ※アーカイブ配信（8/31～9/20）
「娘が突然、障害者になっちゃった」
登山ガイド 障害者当事者家族 大川 氏
 - ③『講演』 ※1月7日（土）
「障害者生活支援センター ささえの歩みとめざすもの ～障がい者の気持ちに寄り添って支える そして～」
管理者 中村 氏 相談員 庄司 氏

その他研究の詳細など

- <成果>
- 市広報を活用した講座の情報発信と連携協議会委員以外の周知先の拡大を行った。
 - コロナ感染拡大局面におけるネットを活用した講座開催ができた。
 - 比内支援学校青年学級を市立中央公民館で開催し、社会教育施設の利用体験ができた。
 - 連携協議会委員が講座へ参加や見学を始めた。
 - 連携協議会を通じて、福祉部門との事業連携の可能性が出てきた。

- <課題>
- 講座参加の最初のハードルが高く、内容を障害者と直接関わる施設職員の丁寧な説明が必要であることから、職員の講座参加を促す必要がある。
 - 障害者の声を直接聞く機会の創出と講座開催では、参加者が選択できる仕組み作りが必要である。
 - 生涯学習講座情報を一括に情報発信できるプラットフォームの構築